



灯籠が照らしたす、肘折温泉1201年目の夏。

カルデラの底に
水の街が見える、灯が揺れる

肘折温泉は千年を越える歴史をもち、
いまも湯場の面影をとどめる温泉です。
はるかな一万年の昔に生まれた、
半径一キロのカルデラの底に、
身を寄せ合うように
旅館や商店が建ちならんでいます。
湧きいづる恵みの湯とともに、
人びとは長い歳月をこの地に生きてきました。
月山登拝口のひとつであり、
修験道とのかかわりが深く、
いまも季節ごとに修験の祭りがいとなまれています。

その、ひなびた温泉街を舞台として、
わたしたち東北芸術工科大学との提携のもとに、
「東北ルネサンス in 肘折」という
プロジェクトが動きだしています。
古来より、温泉は「もてなしの文化」をもち、
ひそかな芸術や文化の創造の現場で
ありつづけてきました。
その温泉という場所が
秘める伝統の力を呼び覚ましながら、
肘折温泉郷を「まるごと美術館」として
デザインしてみたい、そんな欲望に駆られています。
そこから、あらたな湯治のスタイルが
生まれてくるかもしれません。

この夏、ふたたび「ひじおりの灯」が、
やさしく夜の温泉街を彩ることになります。
ひとりでも多くの人たちに、
あたたかい肘折の誕生に立ち会ってほしい、と
心より願っています。

赤坂憲雄 東北芸術工科大学 本学長

第2回 灯籠絵鑑賞会 東北ルネサンスプロジェクト事業
ひじおりの灯
HIJIORI Light project

2008年7月13日(日)〜8月20日(水)
山形県最上郡大蔵村肘折温泉

※ 実行時間：18時30分〜20時 ※ 雨天・強風時は点灯しない場合があります。
※ 点灯開始：7月13日(日) 18時30分 精霊流し：8月17日(日) 19時
※ 点灯終了：7月14日(月) 13時 ※ 点灯終了：8月20日(水) 20時30分
主催：東北芸術工科大学 肘折温泉郷 (3町連合会)
協力：アーツセンター 山形県立博物館 (3町連合会) www.takeda-art.jp/museum



交通のご案内
バス：山形県観光バスセンターより肘折温泉行きバスで約75分。
※ 山形県観光バスセンターは、山形駅前バス停留所から徒歩約10分、
山形県立中央図書館、県立図書館、国体競技場から約10分。
お問い合わせ
東北芸術工科大学 肘折温泉郷 事務局
〒992-9532 山形県最上郡大蔵村 4-8
TEL 023-627-2043/FAX 023-627-2085
mcc@art.jp.ac.jp